

### 3 本市の商工業が目指す将来像と課題

#### 本市の商工業が目指す将来像

農業や豊かな自然と共存しつつ  
商工業者が地域の雇用・暮らし・にぎわいを  
支える存在として持続的に発展する

現状の問題点を解消し、目指す将来像を実現するために  
3つの課題に取り組みます

#### 現状の問題点

##### 地域経済の 停滞に関して

- 商業が衰退傾向にあり、買い物の場が失われつつある
- 人が集まれるエリアが不足し、にぎわいの低下につながっている
- 市外の大規模商業施設等での消費により、地元購買率が低下している
- 高齢化が進み買い物弱者が増加する傾向である
- 会社や店舗の魅力が市内外に伝わっていない
- 地元の名産品（果樹等を活かした特産品や土産品）が少ない

##### 事業者の経営基盤に に関して

- 経営革新への取り組みが進んでいない
- 農業や観光業等との共存・連携が不足している
- 地域の魅力の認識や、活用する意識が不足している
- ICT化への対応が十分とはいえない
- まとまった事業用地の確保が容易ではない

##### 人材に関して

- 後継者が不足している
- 地域を引っ張るリーダー的な存在が不足している
- 大学進学時や就職時に市外へ人材が流出してしまう
- 人材の採用や、特に工業では人材の育成に苦慮している

#### 取り組んでいく課題

## 1 地域経済の 活性化

- 事業者の魅力の向上  
（例）広報紙などの活用、個社のブラッシュアップ
- 事業者の製品・サービスの利用促進  
（例）買い物運動の実施、地域ポイントの活用
- 買い物の「場」「足」の確保  
（例）買い物弱者への支援、空き店舗バンクの活用
- 地域産品の販売・出荷機会の拡大  
（例）特産品などの開発支援、情報発信
- にぎわいのあるまちづくり  
（例）観光客の受け入れ体制の充実、コンパクトなまちづくり



【イメージ】移動販売による買い物の場の確保 ▶

## 2 経営基盤の 強化

- 経営基盤強化や経営革新  
（例）伴走型支援や専門家による個社支援の充実
- 販路拡大  
（例）展示会等への出展支援など
- 企業立地の促進  
（例）空き公共施設や空き工場バンクの活用など
- 円滑な事業承継  
（例）事業承継ニーズの掘り起し、きっかけづくり
- 地域ブランド力向上  
（例）ふるさと名物応援宣言、観光・農業分野との連携



【イメージ】展示会等への出展支援 ▶

## 3 人材の育成・ 活躍

- 創業支援の促進  
（例）山梨市創業支援等事業計画に基づく支援など
- 活躍の場を広げるための人材育成  
（例）従業員の資格取得の支援など
- 事業者の魅力発信  
（例）学生・保護者に向けた市内事業者の魅力発信など
- 意見交換の場づくり  
（例）時代に合わせた本指針の適宜見直しなど
- 新たな人材の確保  
（例）企業ガイダンスやインターンシップの充実など